



モビリティ・サービス系統における 体制見直しについて提案を受ける

12月16日、将来にわたる環境の変化に対応するため、輸送の安定性向上と効率的な業務体制を実現し、統括センター内の更なる融合を推進するために、モビリティ・サービス系統の現業機関における体制見直しの提案を受けました。

業務融合の拡大

統括センターで実施している駅と乗務員の業務融合を拡大します。

- 長岡統括センター乗務室駅業務行路の追加
 - ・長岡駅において乗務員による新幹線ホーム列車扱いの見習いを開始します。
 - ・1726M土休日ワンマン化に伴い車掌行路一部で長岡駅において駅業務を設定します。
 - ・1752Mワンマン化に伴い車掌行路一部で越後湯沢駅において駅業務を設定します。
- 新潟統括センター新潟乗務室（一部変更）
 - ・4行路の分割設定とし、1行路あたりの業務時間を短縮します。

車掌交番の見直し

- 庄内統括センター・新潟統括センター新津乗務室
 - ・車掌交番を廃止。運転士交番の1つの組に車掌行路融合します。
- 長岡統括センター乗務室・新潟統括センター新潟乗務室
 - ・運転士交番の1つの組に車掌行路を融合します。

その他

- 無人駅等管理体制の見直し
 - ・庄内統括センター・新潟統括センター社員が担っている無人駅等管理業務の一部をグループ会社に業務委託することにより、体制を一部見直します。
- ワンマン運転列車及びワンマン列車の全ドア開扉区間の拡大
 - ・羽越線、信越線、上越線のワンマン列車を拡大します。また羽越線（新津～新発田）、越後線（新潟～吉田）、白新線において各駅で全てのドアから乗降を可能とします。
- のってたのしい列車の運行体制について
 - ・「SLばんえつ物語」「海里」の運行について新潟統括センター総体でオペレーション業務を融合します。

安全・健康・ゆとり・働きがいを守るために みんなで東日本ユニオンに加入しよう！